



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドウシシャ

コード番号 7483 URL <https://www.doshisha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO (氏名) 野村 正幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経
理、貿易業務、業務管理担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	84,737	5.4	7,254	8.9	7,405	6.5	4,991	6.4
2022年3月期第3四半期	80,401	△1.4	6,661	△23.5	6,950	△21.9	4,692	△22.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 4,588百万円 (2.4%) 2022年3月期第3四半期 4,481百万円 (△25.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	145.85	-
2022年3月期第3四半期	133.61	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	98,900	78,685	77.9	2,255.98
2022年3月期	94,371	76,712	79.8	2,177.99

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 77,021百万円 2022年3月期 75,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
2023年3月期	-	30.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	6.9	8,300	16.7	8,400	10.6	5,600	9.1	163.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	37,375,636株	2022年3月期	37,375,636株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	3,234,624株	2022年3月期	2,809,024株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	34,223,852株	2022年3月期3Q	35,120,762株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和や旅行支援策により、旅行や外食などの産業で需要の回復が見られるものの、エネルギー価格の上昇による電気料金やガソリン価格の上昇、食品品や生活用品の値上げにより、家計への負担に対する今後の生活への不安感から、国内消費市場は依然として厳しい状況が続いております。

そのような状況の下、当社グループとしましては2022年5月20日に公表いたしました「トウシヤグループ中期経営計画」の達成に向けて、取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高84,737百万円(前年同期比105.4%)、売上総利益23,106百万円(前年同期比101.0%)、販売費及び一般管理費15,852百万円(前年同期比97.8%)、営業利益7,254百万円(前年同期比108.9%)、経常利益7,405百万円(前年同期比106.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,991百万円(前年同期比106.4%)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」

食品関連では、焼き干し芋やグミ、ピーナッツ類などの素材菓子の販売が好調に推移したほか、チョコレートペンなどの製菓材料がクリスマス需要により好調に推移しました。

家電関連では、インターネット動画配信サービスを快適に楽しんでいただくことに特化した「ORION(オリオン) Android TVTM搭載 チューナーレス スマートテレビ」が好調に推移しました。一方、加湿器や暖房器具など冬物家電の販売が伸び悩みました。

また、開発型ビジネスモデル全体として、為替予約や価格の改定を行ってはいるものの、急速な原材料コストの上昇や円安となった影響を受け、セグメント利益が低下しました。

その結果、当セグメントの売上高は41,651百万円(前年同期比101.8%)、セグメント利益2,967百万円(前年同期比86.5%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」

ブランドバッグや時計など有名ブランド関連では、行動制限の緩和や旅行支援策により、ビジネス・ユースや旅行用バッグなどで需要の回復が見られるほか、スマートウォッチの販売も好調に推移しました。

ビューティ関連では、化粧水やUVスプレーが、アジア圏への海外販売を中心に伸長しました。

ギフト関連では、「T. D. E a r l y」などのブランドスイーツがメディア露出による認知度向上や販路拡大とともに、販売が伸長しました。

中元・歳暮ビジネスについては、これまで得意先各自で行っていたカタログ制作や売場づくり、受注処理など事業運営に係る業務を当社が丸ごと請負する事業の拡大により伸長しました。

アミューズメント関連では、行動制限の緩和などでゲームセンターやアミューズメント施設にも賑わいが戻ってきた中、人気ゲームやアニメのキャラクターを用いた玩具商品の導入強化などにより、好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は39,824百万円(前年同期比110.5%)、セグメント利益4,457百万円(前年同期比129.7%)となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は76,389百万円となり、前連結会計年度末(72,003百万円)に比べ4,386百万円増加いたしました。これは主に、売掛金8,008百万円、電子記録債権709百万円の増加及び現金及び預金4,074百万円、商品及び製品339百万円の減少によるものであります。固定資産は22,510百万円となり、前連結会計年度末(22,367百万円)に比べ143百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券246百万円、繰延税金資産263百万円の増加及び建物及び構築物(純額)251百万円、有形固定資産その他(純額)60百万円、無形固定資産55百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、98,900百万円となり、前連結会計年度末(94,371百万円)に比べ4,529百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は12,555百万円となり、前連結会計年度末(9,899百万円)に比べ2,656百万円増加いたしました。これは主に、買掛金1,297百万円、その他1,360百万円の増加によるものであります。固定負債は7,659百万円となり、前連結会計年度末(7,759百万円)に比べ99百万円減少いたしました。これは主に、その他102百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は78,685百万円となり、前連結会計年度末(76,712百万円)に比べ1,972百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益4,991百万円、その他有価証券評価差額金148百万円、為替換算調整勘定34百万円の増加及び自己株式の取得646百万円、剰余金の配当2,061百万円、繰延ヘッジ損益739百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、77.9%(前連結会計年度末は79.8%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は44,507百万円となり、前連結会計年度末より4,074百万円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は1,107百万円(前年同期は2,732百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益7,405百万円、減価償却費556百万円、棚卸資産の減少額334百万円、仕入債務の増加額1,304百万円、その他の流動負債の増加額468百万円による増加及び売上債権の増加額8,841百万円、その他の流動資産の増加額189百万円、法人税等の支払額2,350百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は230百万円(前年同期は869百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出156百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は2,820百万円(前年同期は2,756百万円の減少)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出646百万円、配当金の支払額2,057百万円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月9日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,581	44,507
受取手形	330	458
売掛金	12,638	20,647
電子記録債権	1,471	2,180
商品及び製品	8,036	7,697
短期貸付金	13	12
その他	933	886
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	72,003	76,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,073	13,073
減価償却累計額	△5,442	△5,694
建物及び構築物 (純額)	7,630	7,378
土地	9,385	9,385
建設仮勘定	784	791
その他	3,022	3,156
減価償却累計額	△2,191	△2,386
その他 (純額)	830	770
有形固定資産合計	18,631	18,326
無形固定資産	416	361
投資その他の資産		
投資有価証券	1,910	2,157
長期貸付金	20	10
繰延税金資産	280	543
その他	1,119	1,123
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	3,319	3,823
固定資産合計	22,367	22,510
資産合計	94,371	98,900
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,916	7,214
未払法人税等	1,192	1,195
役員賞与引当金	57	55
賞与引当金	5	3
その他	2,727	4,087
流動負債合計	9,899	12,555
固定負債		
長期借入金	6,600	6,600
退職給付に係る負債	650	653
資産除去債務	10	10
その他	498	395
固定負債合計	7,759	7,659
負債合計	17,658	20,215

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,273	6,273
利益剰余金	68,054	70,984
自己株式	△4,459	△5,105
株主資本合計	74,861	77,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	205
繰延ヘッジ損益	207	△532
為替換算調整勘定	180	215
退職給付に係る調整累計額	△21	△12
その他の包括利益累計額合計	423	△124
新株予約権	—	91
非支配株主持分	1,427	1,572
純資産合計	76,712	78,685
負債純資産合計	94,371	98,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	80,401	84,737
売上原価	57,530	61,630
売上総利益	22,870	23,106
販売費及び一般管理費	16,208	15,852
営業利益	6,661	7,254
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	78	43
債務勘定整理益	10	4
為替差益	63	23
助成金収入	44	3
受取和解金	19	—
受取保険金	—	5
その他	96	81
営業外収益合計	313	168
営業外費用		
支払利息	3	3
支払手数料	10	4
その他	10	8
営業外費用合計	24	16
経常利益	6,950	7,405
税金等調整前四半期純利益	6,950	7,405
法人税、住民税及び事業税	2,066	2,336
法人税等調整額	87	△26
法人税等合計	2,154	2,310
四半期純利益	4,795	5,095
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	103
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,692	4,991

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,795	5,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△115	148
繰延ヘッジ損益	△347	△739
為替換算調整勘定	140	76
退職給付に係る調整額	8	8
その他の包括利益合計	△314	△506
四半期包括利益	4,481	4,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,309	4,443
非支配株主に係る四半期包括利益	172	145

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,950	7,405
減価償却費	553	556
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	26	14
株式報酬費用	—	91
受取保険金	—	△5
助成金収入	△44	△3
受取和解金	△19	—
受取利息及び受取配当金	△79	△49
支払利息	3	3
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,716	△8,841
棚卸資産の増減額 (△は増加)	923	334
仕入債務の増減額 (△は減少)	736	1,304
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△309	90
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	7	△189
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	523	468
その他	15	14
小計	543	1,188
利息及び配当金の受取額	79	49
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△3,413	△2,350
保険金の受取額	—	5
助成金の受取額	44	3
和解金の受取額	19	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,732	△1,107
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△315	△156
無形固定資産の取得による支出	△18	△53
投資有価証券の取得による支出	△517	△17
貸付金の回収による収入	2	10
その他の支出	△24	△14
その他の収入	3	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△869	△230
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△256	△646
リース債務の返済による支出	△118	△115
配当金の支払額	△2,105	△2,057
非支配株主への配当金の支払額	△275	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,756	△2,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	84
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,290	△4,074
現金及び現金同等物の期首残高	47,870	48,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,580	44,507

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月19日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式425,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が646百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,105百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	40,905	36,045	76,951	3,336	80,288	—	80,288
その他の収益	—	—	—	113	113	—	113
外部顧客への売上高	40,905	36,045	76,951	3,449	80,401	—	80,401
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	6,561	6,561	△6,561	—
計	40,905	36,045	76,951	10,010	86,962	△6,561	80,401
セグメント利益	3,428	3,438	6,866	342	7,209	△547	6,661

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△547百万円の内訳は、セグメント間取引の消去117百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△201百万円及びその他調整額△463百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	41,651	39,824	81,475	3,140	84,616	—	84,616
その他の収益	—	—	—	120	120	—	120
外部顧客への売上高	41,651	39,824	81,475	3,261	84,737	—	84,737
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	6,413	6,413	△6,413	—
計	41,651	39,824	81,475	9,674	91,150	△6,413	84,737
セグメント利益	2,967	4,457	7,424	535	7,960	△706	7,254

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△706百万円の内訳は、セグメント間取引の消去77百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△391百万円及びその他調整額△391百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。